

平成25年度全国学力・学習状況調査 クロス集計結果

－ 指導と学力の関係等の分析 －

- 8月に公表した平成25年度調査の結果について、教科に関する調査と質問紙調査のクロス集計等を行い、学校の指導状況と学力の関係などを分析。
- 分析結果については、教育委員会や学校における指導改善のための参考資料や、分析方法の参考として、教育委員会等に配布。

分析結果の概要

指導と学力の関係

新学習指導要領で重視されている以下の指導の状況について分析(平成25年度新規項目)

1 見通し・振り返り学習活動

- ・ 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動
- ・ 授業の最後に学習したことを振り返る活動

2 言語活動や総合的な学習の時間

- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 総合的な学習の時間における探究活動 など



上記の活動を積極的に行った学校ほど、教科(特にB問題(活用)の記述式問題)の平均正答率が高い傾向が見られる。

指導と学習習慣の関係

児童生徒の家庭での学習習慣の観点から指導方法を分析

3 学習習慣と関係が見られる指導

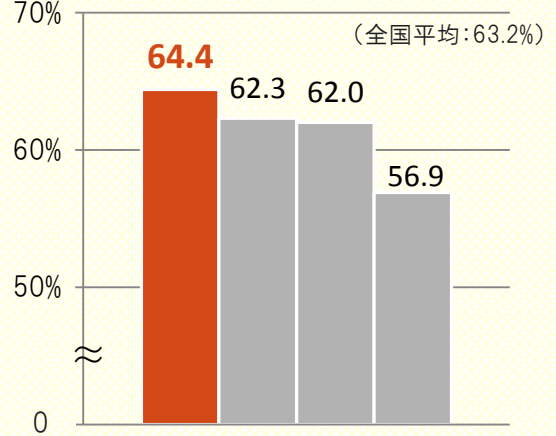
- ・ 学習方法に関する指導
- ・ 家庭学習に関する指導
- ・ 総合的な学習の時間における探究活動

1 見通し・振り返り学習活動（新規）

- ・ 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動
- ・ 授業の最後に学習したことを振り返る活動

- 上記の活動を積極的に行った学校ほど、国語B(活用)の記述式問題の平均正答率が高い傾向が見られる。

(例)「授業の冒頭で目標を示す活動」と記述式問題の平均正答率の関係(中学校)



※左から順に活動を「よく行った」「どちらかといえば、行った」「あまり行っていない」「全く行っていない」と回答した学校の平均正答率(国語B)

学校と児童生徒の意識の差

学校が上記の活動を行っていると考えていても、そのように受け取っていない児童生徒が一定割合存在し、特に中学校でその割合が大きい。

(学校と児童生徒の双方に行った調査結果の比較)

■ 授業の冒頭に目標(めあて・ねらい)を示す活動

	小学校	中学校
「よく行った」と回答した学校の児童生徒のうち、否定的な回答をした割合	15%	24%
「どちらかといえば、行った」と回答した学校の児童生徒のうち、否定的な回答をした割合	20%	37%

■ 授業の最後に学習したことを振り返る活動

	小学校	中学校
「よく行った」と回答した学校の児童生徒のうち、否定的な回答をした割合	21%	43%
「どちらかといえば、行った」と回答した学校の児童生徒のうち、否定的な回答をした割合	24%	50%

2 言語活動や総合的な学習の時間（新規）

- 以下を積極的に行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。
 - ・ 学級やグループで話し合う活動
 - ・ 総合的な学習の時間における探究活動
（自分で課題を立てて、調べたことを発表するなどの学習活動）
- また、国語、算数・数学の授業で、
 - [国語] 調べたことなどを読み手に伝わるように書いている（小学校）
意見の根拠として取り上げる資料が適切か考えている（中学校）
 - [算数] なぜこの式に表したのか考えている（小学校）
 - [数学] 2つの数量の関係を表、式、グラフを使って考えている（中学校）と回答している児童生徒ほど、当該教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

学校と児童生徒の意識の差

（学校と児童生徒の双方に行った調査結果の比較）

■ 学級やグループで話し合う活動

	小学校	中学校
「よく行った」と回答した学校の児童生徒のうち、否定的な回答をした割合	19%	28%
「どちらかといえば、行った」と回答した学校の児童生徒のうち、否定的な回答をした割合	22%	37%

■ 総合的な学習の時間における探究活動

	小学校	中学校
「よく行った」と回答した学校の児童生徒のうち、否定的な回答をした割合	34%	41%
「どちらかといえば、行った」と回答した学校の児童生徒のうち、否定的な回答をした割合	40%	49%

参考 | これまでも明らかとなっている教科の平均正答率等と関係がある指導例

- 考えを発表する機会を与える指導
- 調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導
- 資料を使って発表する指導
- 国語の指導として書く習慣や読む習慣を付ける指導
- 学習方法（テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導
- 家庭学習に関する指導（調べたり文章を書いたりする宿題を出すなど）

3 学習習慣と関係が見られる指導（新規）

以下の指導・活動を行った学校ほど、児童生徒の家庭での学習習慣が身に付いている傾向が見られる。

（＊学習時間、復習をする、苦手な教科の勉強をする、テストで間違えた問題について勉強するなどについて肯定的な回答をした児童生徒の割合が多い。）

- 学習方法(テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導
- 家庭学習に関する指導（家庭での学習方法について具体例を挙げながら教えるなど）
- 総合的な学習の時間における探究活動